



PE/FE 受験予定者および PE 登録予定者向け

日本プロフェッショナルエンジニア協会 (略称:日本 PE 協会)
The Japan Society of Professional Engineers (JSPE)

The Future Begins with Engineers and JSPE

JSPE とは (JSPE の設立趣旨、歴史)

日本プロフェッショナルエンジニア協会(JSPE)は 1. 会員が専門技術を通じて国際的な工学基準の認識および理解をする 2. 会員が高度の倫理基準をもって公共の安全・健康・福祉・財産を守る活動を支援することを目的として米国 PE ライセンスを持つ国内エンジニアにより 2000 年 9 月に設立されました。2001 年 3 月には特定非営利活動 (NPO) 法人の認証を東京都より得ました。JSPE は日本で FE/PE 試験を実施する日本 PE・FE 試験協議会 (JPEC) と協力関係にある他、2001 年 9 月より米国プロフェッショナルエンジニア協会 (NSPE) と提携合意 (affiliation agreement) を結んで日米間の相互交流を行っています。JSPE は 2014 年 7 月現在約 370 名の会員で構成されています。そのうち約 160 名が PE 会員です。

米国プロフェッショナルエンジニア (PE) ライセンスとは (定義、歴史)

PE ライセンスは、一定の工学教育と工学実務経験を積み、規定の一次試験 (FE 試験 (7 分野))、二次試験 (PE 試験 (25 分野)) 及び州法や倫理などに関する各州独自の試験に合格した個人を米国各州政府に任命された PE ボードが認定・登録し、その個人にのみエンジニアリング業務を認めるという制度です。米国 PE 制度は 1907 年ワイオミング州より始まり、現在は全ての州で運用されています。PE 制度は試験が国際規格に対応していることや倫理基準が実務的であること等が国際的に認知され、米国に約 40 万人の PE がいるほか、日本、韓国を含む米国以外の国々にも多くの PE が存在します。(現在のところ、米国 PE ライセンスは日本での法的位置付けがなく、他の国内エンジニアライセンスとも相互認証はされていません。)

PE ライセンスはどうすれば取得できるか

PE ライセンスを取得するための教育要件は一般に ABET (全米工学教育評議会) が認定する 4 年制工学課程を卒業していることが求められます*。経験要件は、一般に社会人としての実務経験を 4 年以上積み、その経験を 5 名のエンジニア (うち 3 名は PE*) から書面で保証 (リファレンス) してもらうことが求められます。州により異なるこれら教育と経験の要件を書面審査でクリアし、NCEES (全米技術試験協議会) が全州共通で実施する FE 試験と PE 試験に合格し、更に各州独自の試験に合格すれば PE ライセンスを取得することができます。(※ ABET 認定基準は言語の違いを除けば JABEE (日本技術者教育認定機構) が国内で適用する基準とほぼ同等です。また保証人としてのエンジニアは国内エンジニアライセンス保持者等でも認められることがあります。)

日本における PE ライセンス取得の概要

1994 年、国際的なサービス貿易促進と技術障壁除去の流れを受け、日本でも FE/PE 試験が受験できるようになりました。現在日本国内の FE/PE 試験は JPEC が実施しており、一定の条件を満たす国内エンジニアが受験できます*。FE/PE 試験に合格すると、米国のいずれかの州 PE ボードに対し PE 登録を申請し州の書面審査及び各州独自の試験を通過すると PE ライセンスが得られます。www.jpec2002.org

(※ 日本での FE/PE 受験の詳細は JPEC ウェブサイトを参照下さい。)

PE ライセンスにおけるリファレンスの重要性

前述の通り PE ライセンス取得時は、リファレンスが求められます。リファレンスは PE ライセンス申請者を 1 年以上知っている人が、その人の業務経験や技術的バックグラウンドについての見解を文書で提出するものです*。(※ 州によりリファレンスの要件は異なります。) これは FE/PE 試験に合格する能力のみならず、PE として相応しい人物であるかどうかを担保するもので、

PE ライセンスの特徴の一つと言えます。身近にリファレンスになってくれそうな PE 保持者がいない場合、JSPE の CPD セミナー等に参加することで PE 保持者と知り合うことができます。

JSPE の刊行物

会員には米国 PE 制度の動向などを掲載した *JSPE* マガジンを年 4 回発行する他、「日本人のための PE ハンドブック」を進呈しています。またウェブサイトを通じて米国 PE 制度の動向、NSPE 倫理規定和訳などを一般に公開しています。

JSPE のアウトリーチ活動

JSPE では CPD セミナー開催、刊行物発行だけでなく、次のような活動も行っています。これらの活動に参加することで、通常の業務とは異なる分野での人脈や情報を得ることができ、エンジニアとしてのキャリアアップにつながります。

● PE 制度の普及定着活動

PE ライセンスを取得しようとする会員および非会員に、受験・登録の手続きや体験談を紹介し、各種相談に応じるセミナーを定期的に開催しています*。また倫理基準を解説するセミナー、NCEES 学歴評価支援サービスも随時提供しています。（※ 受験勉強そのものを指導するセミナーは現時点で提供していません。）

● 対外交流

国内エンジニアのより一層の国際化や PE 制度の普及定着を図るための取り組みとして、NSPE との日米間交流を行う他、国内外の諸関係団体との情報交換等を随時行っています。

● 会員間の交流

各種セミナーに加えて、イヤーズエンドパーティ等の懇親会を開催し、会員および非会員の交流と情報交換の機会を提供しています。



2017 年 6 月 JSPE 総会での写真

JSPE 入会案内

JSPE の会員になって頂くと、CPD セミナーに会員価格で参加できる、会員限定の刊行物入手できる、PE 保持者との交流を通じて PE ライセンス取得への道が開けるなど様々なメリットが得られます。会員には次に示す 6 種類の区分があり、www.jspe.org からオンラインで入会申込が行えます。なお、初年度会費は入会月により変わります。入会申請後、会員部会よりお振込みいただく金額をご連絡しますので、それまでお振込みはお待ちください。

会員区分	条件	年会費
1. PE 会員（正会員）：	米国のいずれかの州で PE 登録をしている人	12,000 円
2. 準 PE 会員：	PE 試験に合格している人	9,000 円
3. FE 会員：	FE 試験に合格している人	9,000 円
4. 一般会員：	これから FE 試験を受験しようとする社会人	6,000 円
5. 学生会員：	これから FE 試験を受験しようとする大学生/大学院生	無料
6. 賛助会員：	当会の活動趣旨に賛同する個人または団体	別途

▶ 入会金は 3,000 円です。ただし、学生会員と賛助会員は入会金免除。

お問合せ窓口

JSPE への各種問合せは次へお寄せ下さい。

事務所：〒107-0052 東京都 港区 赤坂 2-10-17 石原ビル 2F

最寄駅：東京メトロ銀座線・南北線 溜池山王駅

代表者：川村 武也

（携帯 070-5654-0611：電話にすぐ出られない場合があるので、Eメールにご一報ください。）

Eメール：webmaster@jspe.org